

# 障害児支援における県内小学校と放課後等デイサービス事業所との連携した取組の可能性について

## — 質問紙調査を通した考察 —

西九州大学健康福祉学部  
講師 土井

### I 研究目的

小学校と放デイとの連携した取組の実態を明らかにし、今後の取組の可能性について探ること

### II 研究方法

県内の小学校と放デイへの質問紙調査  
( 調査期間 R7.12 月中旬 ～ R8.1 月下旬 )

### III 調査結果 (中間報告)

#### 1. 連携の必要性あり!

「大変必要」「やや必要」の回答がほとんどであった。

- ・ 送迎時の情報共有
- ・ 保護者を介した情報共有
- ・ 特定児童に関するケース会議
- ・ 二者間での連絡会議の実施 など

#### 2. 取組はこれから!

「ときどきある」「あまりない」の回答がほとんどであった。

- ・ 送迎時の情報共有
- ・ 特定児童のケース会議

#### 3. 連携上の課題あり!

「大変ある」「少しある」の回答がほとんどであった。

- ・ 業務の多忙さ
- ・ 業務時間のずれ
- ・ 個人情報の取扱い など

☆ 現在 (申請時)、調査期間中 ☆

当日は、最終結果と考察を  
ポスター展示いたします!



※本研究は、「TSUNAGIプロジェクト連携事業」で佐賀県と共同で行っております。

